

## 「歯科技工業界の将来を見つめて」

主催 「いい年の会」 会長 尾崎友保

「いい年の会」は昭和11年生まれの仲間によって発足、「11年会」という名称で活動してきましたが、年令と共に先細りになるということで「いい年の会」に改め、年令は問わず活動の主旨に賛同してもらえば入会できるようにしました。

その主旨は我々が先輩から引き継いだ歯科技工士の技術をさらに向上させて次世代に引き継ぐことで隔年にシンポジウムなどを開催してきました。

今回は迫りくる団塊の方々が高齢化を迎えるに当たり、歯科技工士の立場で社会に如何に貢献できるか？ 昭和の技工士と平成の技工士が一同に会して、複数の方々の提言に基づき、ディスカッションを企画してみました。多数の参加を期待しています。

日本政府も団塊の社会に向けていろいろと検討に入っているようですが、私たちも高齢化社会の歯科技工技術確立のために一歩を踏み出しませんか。